

2022年度 福知山公立大学 第2回 市民講座

まちづくりにおける地域企業の挑戦

2022年9月28日(水)18:30~20:30(18:10~受付)
ハイブリッド開催：会場およびオンライン(Zoom)参加
会場：福知山公立大学 4号館1階102講義室/京都府福知山市字堀3370

参加費無料

会場定員50名程度

定員に達し次第、オンライン参加のみの受付となります。

※マスク着用、手指アルコール消毒、検温等、新型コロナウイルス感染防止対策にご協力をお願いします。
状況によっては、開催時間の短縮もしくは会場での開催を中止し、オンライン開催のみに変更する場合があります。

※オンライン受講にはパソコンやスマートフォン等の端末、およびインターネット環境が必要です。

第1部 京都北部の企業・自治体と連携した大学の教育プログラムの今

京都工芸繊維大学では、グローバルな視野を持って工学・科学技術により地域の課題を解決できる国際高度専門技術者を育成するため「地域創生Tech Program」を、学部共通プログラムとして開設しています。本プログラムでは、各自が工芸科学部に設置された教育プログラムによって教養や専門基礎を身に付けたうえで、京都北部の5市2町の自治体様、企業様からの様々な課題を解決する課題解決型授業やインターンシップによる多様な実践的体験を積みまします。7年目を迎えた本プログラムですが、こういった体験を通して学生が京都北部の自治体様や企業様の魅力を発見し、就職につながった事例も生まれています。講演では本プログラムの概要、そして自治体様、企業様に如何にご協力頂いてきたのか、また学生の進路などについて紹介したいと考えます。

プロフィール

1987年、東京大学工学部を卒業し、住友電気工業株式会社に入社。1993年1月より株式会社国際電気通信基礎技術研究所・通信システム研究所に転出。2002年9月、同・知能ロボティクス研究所の主任研究員を務め、2007年より京都工芸繊維大学・准教授に就任。2016年より京都工芸繊維大学・教授、2018年、同・学長補佐、地域創生Tech Program長、2019年、同・副学部長、地域創生Tech Program長。主に認知症高齢者や障がい者に対する、情報通信技術を活用した日常生活支援の研究に従事してきた。ヒューマンインタフェース学会、映像情報メディア学会、日本人間工学会、サービス学会、日本繊維機械学会の会員。



京都工芸繊維大学 教授
地域創生 Tech Program 長
くわはら のりあき
桑原 教彰 氏

第2部 中小企業の地域資源を活かしたまちづくり

何もなかったと思っていた地元にUターンしてきたとき、そのレトロな情緒溢れるまちなみの魅力を再認識し、これを守っていくことが自分の使命だと感じました。それから工務店の経営を行う中、建築請負業ではなく、まちづくり業だと捉えるようになり、遊休地を活用したカフェを抱える村づくり、まちづくりチームを立ち上げ町家を活用したゲストハウス運営などまちに仕掛ける活動を始めたところ、グッドデザイン賞を受賞するなど会社のイメージもどんどん変わり、求人に対して学生が全国から応募に来てくれるようになりました。地域企業による地域資源と本業を掛け合わせたまちづくり活動がもたらす好循環の事例についてお話しします。

プロフィール

1982年、京都府舞鶴市生まれ。千葉大学工学部卒。一級建築士。東京でIT企業に勤務後、2007年にUターンし家業である大滝工務店を承継。2012年、まちづくりチームKOKINを立ち上げ、町家を改修したゲストハウス事業や、チャレンジカフェを通じた場作り、ママ仕事請負チームの運営などを行う。2017年カフェKAN, MA開業。2020年、地域商社HOUKOを設立し舞鶴市のふるさと納税の運営業務を行う。「まちを楽しむひとを増やす」をミッションとして様々な活動に取り組んでいる。



株式会社 大滝工務店 代表取締役
一般社団法人 KOKIN 代表理事
合同会社 HOUKO 代表
おたき ゆうすけ
大滝 雄介 氏

第3部 パネルディスカッション

福知山公立大学 情報学部

チェン ドンウン

崔 童殷 准教授

コーディネーター

お申し込み ▶ Googleフォームから

※URLはこちらです。<https://x.gd/iK5Vo>

メール(kita-re@fukuchiyama.ac.jp)からも申込可能です。①お名前(フリガナ必須)②お電話番号・メールアドレス③参加方法(会場・オンラインのどちらを希望されるか)④ご所属等を記載してください。



締切 9月26日(月)